堀りょういち市政報告

2022年5月号

2022/3/24(木)時点版 発行:堀りょういち事務所

横須賀市議会議員

子育てパパ35歳



- 1. 2022年度、横須賀市の新たな取組
- 2. 【提言】学校施設の見直しを急げ!
- 3. ホーリーカフェ4月開催のお知らせ

公式LINE & YouTube

私たちの街を、私たちの力で。 登録よろしくお願いします。





LINE

YouTube

1.2022年度、変わる横須賀 ~ 注目10の取組みを紹介

横須賀市議会で令和4年度予算の審議が終わりました。一般会計予算総額は1,574億円。 昨年度から約1.3%減となりました。これは事業の見直しによる人件費の削減や、給食セン ター建設が完了したこと等によるものです。コロナ禍で落ち込んだ経済が回復傾向にあるこ とから、市税等の収入は約36億円増加しましたが、コロナ前の水準には戻っていません。 横須賀の独自の魅力を磨きつつ、同時に公共施設の見直しはよりスピード感を持って進め、 デジタルや民間の力を積極的に活用するなど、従来事業の見直しをさらに進めるべきではな いでしょうか。堀りょういちは、民間企業での経験を活かし、さらなる提言をしていきます。



1. YOKOSUKAビジョン2030

2030年の横須賀市のビジョンとそれを 実現するためのプランが提示された。 テーマは「変化を力に進むまち」。



6.中心市街地の再開発促進

追浜、中央、久里浜エリアの再開発を促 進。特に新しい図書館の整備を含めた追 浜地区の活性化に向けた検討が進む。



2. 「すくすくかん」が完成

市立中央こども園が開園。同建物に病児・ 病後児保育、一時預かり、子育て支援室 (愛らんど)等の機能を併設し、子育てを 総合的に支援する拠点施設へ。



7.美術館の集客力向上

横須賀美術館の運営担当が観光部局へ 移管。三浦一族やスカジャン等、横須賀 独自の文化の展示も予定されている。



<u>3. 一時保護所に第三者評価導入</u> 横須賀市が単独で設置した児童相談所が、 様々な事情で家庭から子どもを一時的に 預かる一時保護所の運営に第三者評価が 導入される。



8. 脱炭素社会への取組み 2050年までにCO2排出量実質ゼロを 目指し、公共施設への太陽光発電パネル の設置や、ブルーカーボンの取組み、里 山的環境保全等を推進する。



4. 港の活用促進

新港ふ頭と久里浜ふ頭の改修を行い、 ポートセールスによる集荷や定期航路の 誘致を推進。港の活性化を図る。



9.放課後児童クラブの利用料引き下げ

横須賀市の利用料水準が高いことに対 応し、国庫補助を最大限活用し、クラブの 財政負担を減らし、利用料減を目指す。



5.ソレイユの丘リニューアル(続)

1万㎡の花畑やカフェ、グランピング施設 など、R5年4月リニューアルオープンに向 けて工事を開始する。



10.浸水対策

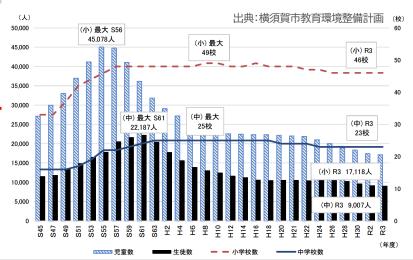
コースカ前や上町地区等をはじめとする 豪雨による浸水対策を推進。雨水管築造 工事や雨水排水施設の実施設計など。

【提言】学校施設の見直しを急げ!

前月号で「教育改革を急げ!」という提言を行いましたが、学校というハード面に対する見直しも急務です。 3月定例議会で、令和4年度から施行される**「横須賀市教育環境整備計画」案**が示されました。少子化が進み、 施設の老朽化等が進んでいます。地域を挙げての話し合いが求められます。

1) 児童生徒数はピーク時より6割減少

令和3年5月1日現在で児童数は17,118人、 生徒数は9,007人となっています。 昭和56年の児童数のピーク45,078人、昭 和61年の生徒数のピーク22,187人と比較 すると、児童生徒共に約6割も減少しています。 全学年11学級以下の小規模校に該当するの は14校。最も少ない小学校の児童数は52名。 一方、生徒が急増した時に建てた学校数はほ とんど変化がなく、老朽化が進んでいます。一 部ではレッドゾーン(土砂災害特別警戒区域) に指定されており、建設コストが高く、修繕等 が困難な学校もあります。



2)地域別の協議会を設置。しかし、わずか2箇所。

本計画によれば、今後は地域ごとの協議会を設けて、そこで具体的な検討を行っていくとしています。 令和4年度については、田浦中・田浦小・長浦小の田浦地域と、馬堀中・走水小・馬堀小の走水・馬堀地域の2 力所で協議会を設置する計画となっています。

横須賀市の公共施設の総面積で、学校が占める割合は43.1%。およそ半分 を占めています。横須賀市の公共施設のあり方を定める「横須賀市FM戦略 プラン」は令和元年7月に策定されています。来年度からようやく2箇所で検 どうする 討開始というのは、遅きに失しているのではないでしょうか。

コロナや少子高齢化で財政が厳しい中、そして、建物の老朽化や風水害の リスクが高まる中、よりスピード感を持って、学校の施設再編の議論を進め

るべきではないでしょうか。

※堀りょういちチャンネルでより詳しく解説しています。↑

【お知らせ】ホーリーカフェ、次回は4月30日(土)開催です。



「政治を身近に!」をテーマに、毎月SNSのライブ配信中です。 堀りょういち本人がプライベートから政治まで、なんでも語ります。 ライブ配信中に頂いたご意見・ご質問に全てその場で回答します。

次回は4/30(土)21:30から。ご視聴いただけると嬉しいです。

※YouTube、Facebook、Instagramでの同時配信を予定し ています。いずれかのアカウントを事前にフォローいただき、開始 時刻になったらアクセスしてください。

堀りょういち

▼1986年本町育ち・根岸町在住/4人兄弟の長男/祖父はドブ板通り「堀整形外科」院長

▼長岡保育園→ 汐入小 → 坂本中 → 県立横須賀高校(57期)→ 早稲田大学 政治経済学部政治学科 →松下政経塾31期入塾 (本市出身では初) →2年半で中退し、アクセンチュア(株)にてIT・財務業 務改革に参画→自殺対策を推進するNPO法人で、深刻な悩みを抱える方の相談・支援に従事。

▼2019年に横須賀市議会議員に初当選。現在1期目。会派「よこすか未来会議」に所属。

よこすかプレーパーク代表・根岸町青壮年部・ドブ板通り商店街振興組合・本町青年会・ 所属 消防団第3分団・横須賀剣道連盟

剣道(四段)、クラシックピアノ、スポーツ吹矢、タップダンス(予定) 趣味

f 堀りょういち



ryoichi_hori

